

くらし塾 さんゆう塾

vol. 7
2009冬号

●巻頭インタビュー
音楽は生きる力
ピアニスト 梯剛之

●そこが知りたい！くらしの金融知識
クレジットカード再点検！

●連載エッセイ―ヒトの生きる力、学ぶ力を知る―
他者への「理解」と「共感」

総合研究大学院大学教授 長谷川眞理子

●金融教育の現場レポート

金銭トラブルから身を守ろう



音楽は生きる力

梯剛之

ピアニスト

巻頭
インタビュー

くらし塾
さんゆう塾

Vol.7

目次

●巻頭インタビュー	2
●そこが知りたい! くらしの金融知識 クレジットカード再点検!	6
●連載エッセイ —ヒトの生きる力、学ぶ力を知る— 〈第3回〉他者への「理解」と 「共感」	11
●気軽にはじめる和文入門 千代紙	14
●知るぽると最前線 作文・小論文コンクールを実施	16
●金融教育の現場レポート 金銭トラブルから身を守ろう	18
●将来へのまなざし すべての努力は現場のため	22
●知るぽるとホームページ 使いこなし術 やってみよう!! 金融商品なんでも百科	24
●まんが わたしはダメサレナイ!! 融資保証金詐欺	26
●知るぽるとラウンジ 都道府県金融広報委員会の活動紹介 金融広報アドバイザーの紹介	29
●金融広報だより 「金融教育フェスティバル」を開催	32
●おたよりコーナー	33
●都道府県金融広報委員会一覧	34
●知るぽるとミュージアム	35
●まんが「おかねのね」	36

●題字 矢田勝美
●表紙イラスト オオノ・マユミ

● 梯剛之（かけはし・たけし）

1977年東京都生まれ。父はピオラ奏者、母は声楽家。小児ガンにより生後1カ月で失明するが、音に対する非凡な才能を見せ、4歳半より本格的にピアノを始める。90年小学校卒業と同時に渡欧し、ウイーン国立音楽大学準備科に入学。同年再び目に悪性腫瘍を患い帰国し手術。翌年ウイーンでの勉強を再開した。98年ロン・ティボー国際音楽コンクール第2位で注目を集め、以後、世界的なピアニストとして活躍を続けている。

生後間もなく病気で視力を失いながらも、天賦の才能と、たゆまぬ努力、そして、それを支える母親の深い愛情によって今日では世界的なピアニストとして活躍されている梯剛之さん。

現在は「子どもに伝えるクラシック」プロジェクトを展開している梯さんに、音楽への想いや、母と子で培った生きる力について、金融広報中央委員会の恵谷事務局長がお話を伺いました。



梯さんの母・侑子さん(左)と、今回インタビュアーを務めた恵谷英雄事務局長(右)

音楽との出会い

「生後間もないころから音楽はいつも身近な存在でした」。朗らかな笑顔で、音楽との出会いをそう語り始めた梯さん。小児ガンにより生後1カ月で失明。手術後も治療や検査のたびに頭や体を押さえつけられ、まぶたを金具製の医療器具で開けられる日々。そのストレスのためか夜泣きも激しかったそうだが、クラシック音楽のレコードをかけるとびたりと泣きやんだと言う。

「当時から難しい曲でも静かに聞き入っていたそうです。10カ月を過ぎたころには、お気に入りの一つだったリヒャルト・シュトラウスの『四つの最後の歌』の一節を、レコードに合わせて、非常に正確な音程で歌っていたみたいです」

そんな赤ちゃんにとっては、ピアノもおもちゃ代わり。積み木など普通のおもちゃには一切興味を示さないのに、お母さんに抱かれてピアノの前に座ると、手の平で鍵盤を叩いて何十分でも「熱演」を楽しんでいたのだとか。1歳になり、2歳になつても、飽きることなくピアノに向かう姿を見て、ご両親も「これだけ好きなのだからやらせてみよう」と決意。4歳半で本格的にピアノのレッスンを開始し、その才能を高めていくことになる。

ところで、楽譜を見ることができない梯さんは、レッスンの際にもあらかじめ暗譜をして臨んだそう

だが、大変な作業ではなかったのだろうか？

「僕は小さいころから演奏を4回ぐらい聞けば、楽譜をほとんど覚えることができました。でも、倍音の関係で音の響きが多かったり、録音環境によって弾いていない音が聞こえてきたりすることがあります。また、同じ曲なのに演奏家によって速さやアクセントが全然違ったり、音の一つ多く、あるいは少なく弾いているような気がすることもあります。そこで楽譜を正確に覚えるため、今もCDで演奏を聞いた後、母に楽譜を一つ一つ説明してもらっています。速さや表情、休符、アクセント、強弱など、楽譜上の細かな指示を何度も読み返してもらいながら、少しずつ確実に記憶していくのです」

こうして1度覚えてしまえば何年たつても忘れない記憶力と、驚異的な耳のよさ。「天賦の才」とは、まさにこういうことを言うのだらう。

* 倍音 「基音(基の音)の振動数に対して整数倍の振動数を持つ上の音のこと。例えばピアノで「ド」のキーを叩くと、その1オクターブ上の「ド」や「2」、2オクターブ上の「ド」や「3」などの「倍音」もかすかに鳴っておりこれらは豊かな音色をもたらす効果も生む。

母の愛情に支えられて

梯さんは、自身の子ども時代を「とにかく、大人から教えられることが嫌いで、反発する子だった」と言って笑う。一方で、同年代の子どもが働きかけると、たとえそれまで嫌がっていた事柄でも、好奇心を

インタビュー

梯 剛之

「ウィーンに在住して18年。モーツァルトやシューベルトが散歩していた道を歩き、そこに注ぐ光や風、鳥のさえずりに触れたり、彼らの書いた手紙を読むと、この偉大な作曲家たちがとても身近に感じられます。昔の人ではなく、さっきまで僕と話していた人のように、近くに迫ってくるのです」と梯さん(写真は、2008年10月に愛知県知立市で行われた演奏会でのもの)

持つて取り組むところがあつたそう。そうした性質に気付いていたお母さんは、健常児の通う保育園を選び、小学校入学時には署名運動まで起こして梯さんを地元校の普通学級へ入学させた。

「母は常に僕のことを思い、何か困難があれば、それをどう工夫し、どう乗り切ればいいかを一緒に考えてくれました。『とにかくやってみて、ダメだったら、そのときにまた次のことを考えればいい』というのが母の口癖で。何もやらないうちにあきらめることを嫌う人なのです」

困難があれば、工夫し、乗り切る——。この言葉をよく示すエピソードに教科書作りがある。梯さんの入学は許可されたが、盲児用の教科書は準備してはもらえなかった。そこでお母さんは、まだ点字を十分に読めなかった梯さん用に、手で触って分かる教科書を手作りすることになる。さすがに1人では無理でボランティアグループにも手伝ってもらったそうだが、全教科分を6年間。膨大で根気のいる大変な作業だ。そこで、お母さんに、なぜそれほど頑張れたのか伺ってみた。

「やっぱり、子ども以上の宝物はないと思うのです。今までで一番つらかったのは、剛之の命が危険にさらされたとき。自分の産んだ赤ちゃんが、もうほとんど見えなくなると言われたこともショックでしたが、でも何としても命だけは守りたかった。そのときの必死な気持ちに比べれば……。命さえあれば、後の苦労はそれ程大変ではありません」



チャレンジから得た力

こうした深い愛情に支えられ、梯さんもさまざまなものを吸収していく。特に、地元の子どもたちとともに学び、遊んだ経験は、今も梯さんの中で大きな財産になっているそうだ。

「音楽漬けにならず、友達と校庭や田んぼなどで遊んだことは、忘れがたい、よい思い出です。体育の授業も結構好きで、鉄棒やマット運動、ドッジボールもやりました。僕の中には、友達がしていることは何でもやつてみたいという気持ちがあつて、いつも何かに挑戦していたように思います。見える人と競争や比較をするのではなく、ただ自分が納得できるように。そうして一つずつ克服していった経験があるからこそ、何か不安なことがあるときも『何とかなるさ』と思えるようになった。今、僕が舞台に立ち、大勢の人の前で演奏できているのも、こうした経験から培ったところが大きいのではないかと思います」

1998年のロン＝ティボー国際音楽コンクールで2位を獲得したのも、こうしたバイタリティがあつてこそ。課題曲の中には難解な新曲もあったが、お母さんと2人で何とか準備するしかなかった。

「あの『トウミュルト』という新曲は、まだCDも

何も出ていなかったので大変でした。このタイトルには『都会の喧噪』という意味もあるし、『波の音のざわめき』という意味もある。僕は『波の音』と解釈して演奏したのですが、作曲者はやはり『都会の喧噪』をイメージしていたみたいで、作曲家の名前の付いた賞はいただけませんでした。その方以外の審査員は満場一致で『あなたが一番素敵だった』と喜んでくれたのですけど」

その言葉通り、梯さんの演奏への評価は高く、リサイタル賞も受賞。世界4大コンクールの一つに数えられるロン＝ティボーにおいて、視覚障害がある人では初の上位入賞を果たした。

音楽の素晴らしさを子どもたちに

これまで演奏活動の傍ら、小児ガン研究や障害者のためのチャリティーコンサートにも積極的に取り組んできた梯さんだが、2006年からはさらに、自身の言葉と演奏で作られたDVDを全国の小学校や特別支援学校、2万4000校に無償配布するプロジェクト「子どもに伝えるクラシック」も展開。全3作のうち、現在までにモーツァルト編とシューベルト編の2作を製作・配布している。

「音楽は僕に生きる力を与えてくれました。で

すから、子どもたちにもその素晴らしさを伝え、もつと音楽を好きになつてもらい、感動や喜びを共有したいと思ったのです。モーツァルトもシューベルトも、最終作で取り上げるベートーヴェンも、ウィーンで暮らす僕にとって、とても身近に感じられる作曲家。街を歩いているときさまざまな所で彼らの息吹を感じることが出来ます。DVDの中では、彼らが生活した家や散歩した道なども紹介しているので、いろいろ想像しながら楽しんでもらえたらよいですね」

実は、当初は子ども用だからもっとやさしい内容にした方がよかったのではないかと心配していたのだが、それは杞憂だったと言う。

「DVDを見た子どもたちから、いろいろな感想のお手紙をもらいうれしかったです。僕らは全国すべての小学校に送付しているので『うちの学校ではまだ観ていない』という先生や生徒さんがいらしたら、職員室の棚などになにか覗いてみてください(笑)」最後に、梯さんに今後の夢を伺った。

「ありきたりかもしれませんが、ピアニストとして、よい音を出して、たくさんの方にクラシック音楽を好きになっていただきたいです。それと、僕は演奏会でさまざまな国へ行きますが、残念なことに肌の色の違いに偏見を持つ人がまだ少なくありません。アジア人でありハンディを持つ僕の演奏を通して、知らず知らずのうちにいうかうかと(笑)、そうした垣根が取れてしまうような、誰の心も打つ演奏ができれば…。それが僕の夢です」

クレジットカード

再点検!

カードを上手に活用するための基礎知識

普段使いになってきたクレジットカード

以前はちょっと高額な買い物や海外旅行のお供にクレジットカードが使われていましたが、最近では公共料金の引き落としから、スーパー、コンビニ、ドラッグストアでの支払いなど、とても身近にクレジットカードが使われるようになってきました。

例えば、大手カード会社が実施したある標本調査を見ると、ここ数年のクレジットカードの保有率は8割程度で横ばいとなっている一方で、カード利用額は毎年少しずつ伸びてい

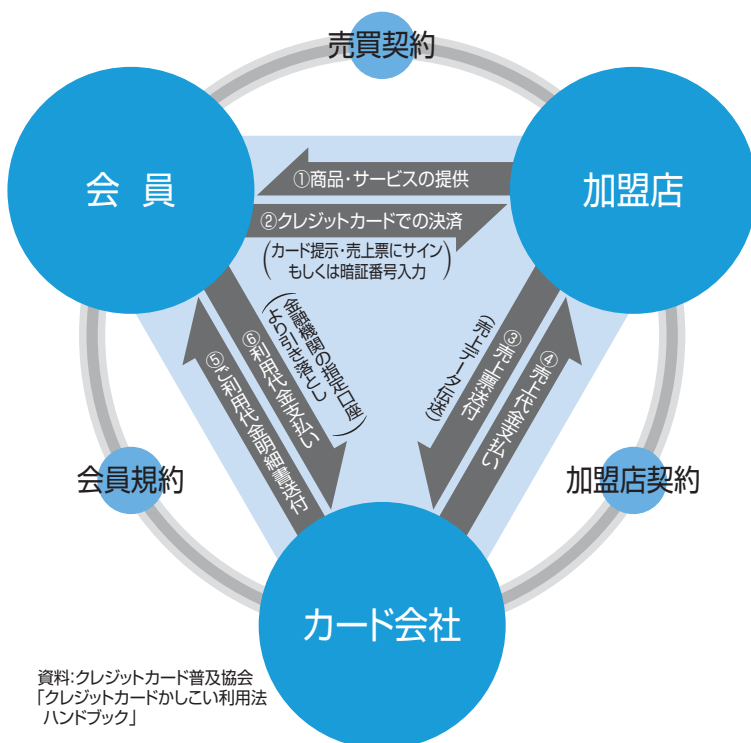
ます。さらに、そのうち一つの調査から1回当たりのカード決済額を見ると、こちらは逆にここ数年、減少傾向にあります。こうした調査結果から、少額の買い物でもカードを利用する人が増え、それが、1人当たりのカード利用合計額のアップにつながっていると推察できます。

*JCB

「クレジットカードに関する総合調査2007年度版」
●調査地域／北海道・東京・神奈川・千葉・埼玉・愛知・大阪・兵庫・京都・福岡
●調査対象者／20歳～69歳
●回答数／25,000人

三菱UFJニコス
「第14回クレジットカードについての消費者調査」
●調査実施時期／2005年
●調査地域／首都圏と京阪神圏
●調査対象者／20歳～69歳
●回答数／8,558人

●クレジットカードでの買い物の仕組み



●執筆者
ファイナンシャル・プランナー
ハツ井慶子

やつい・けいこ
家計の見直し相談センター(東京)の相談員。「わかりやすく」をモットーに、相談業務をはじめ、企業や行政でのセミナー、雑誌・書籍などへの執筆を行う。著書に『お金ストレスを家計簿なしで解消する本』『よくわかる最新金融の常識と仕組み』など。

資料:クレジットカード普及協会「クレジットカードかしい利用法ハンドブック」

クレジットカードの仕組みとは？

これだけ身近になったクレジットカード。ここで改めてクレジットカードでの買い物の仕組みをおさらいしておきましょう。

例えば、クレジットカードを利用して、デパートで1万円の靴を購入

したとします。利用者はレジでカードを提示し、決済を済ませ、靴を受け取りますね。しばらく経って、カード会社から利用者に1万円の請求が来るわけです。その間、デパートとカード会社ではどのようなやりとりがされるのでしょうか。

利用者が靴を購入した後、デパートは、靴の代金をカード会社に請求

します。請求を受けたカード会社は、利用者に代わって代金を支払います。が、このとき支払うのは1万円から手数料を差し引いた額です。その後、カード会社は利用者に1万円を請求します。口座引落等により、カード会社に1万円が支払われれば、これで買い物は完結です。

この仕組みから分かるように、カード会社の売り上げは、利用者から受け取る1万円とデパートに支払う金額との差額となります。デパートとしては、こうした手数料を負担してまでも、商品が売れるチャンスが広がることにメリットがあるわけです。利用者も、手元に現金がなくてもすぐに商品が手に入るのですから、メリットは大きいですね。

支払い方法はいろいろ

利用者は、通常買い物の都度、カード会社に対する支払い方法を選ぶことができます。一般に手数料の負担なく利用できるのが、一括払いや2回払い、ボーナス一括払いです。

先ほどの靴の例で言えば、1万円を翌月に1回で支払うか、5000円ずつ2回に分けて支払うか、あるいはボーナス時期に一括で支払うか、といった具合です。

「分割払い」とは、一般に手数料

のかかる3回以上の支払いを言い、カードによって異なりますが、およそ年率10〜15%程度の手数料がかかります。

さらに、利用額にかかわらず、月々の返済金額を原則一定とする「リボルビング払い(定額方式)」という方法もあります。リボルビング払いと言っても、厳密にはどれも同じわけではありませんが、一般的に例で言うと、例えば、10万円のスーツを購入し、月1万円ずつ支払っていくリボルビング払いを選択したとしましょう。手数料負担が生じるので返済回数は11回です(11回目の返済額は端数)。もし、全額返済し終えないうちに、新たにリボルビング払いで買い物をすると、月1万円の返済額は変わらずに、返済回数が延びることで調整されます。無計画に買い物をしてしまうと、いつまで経っても返済が終わらず、その間しっかりと手数料負担が生じるので注意が必要です。

いずれにしても、カード会社が利用者に代わって、一旦支払いを立て替えてくれる仕組みであることはお分かりいただけるでしょう。これは、カード会社と利用者との間における「信用」によって成り立つ経済行為です。「クレジット」はまさに信用という意味ですから、分かりやすい

主な支払い方法のメリット・デメリット

支払回数	支払方法	メリット	デメリット
1回	一括払い	<ul style="list-style-type: none"> 手数料負担がない 商品購入時と支払い(カード会社からの請求)までの時間差が最も短いので、資金管理が比較的行きやすい 使えるお店が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 支払いまでの猶予期間が短い 使いすぎると、一気に多額の支払い請求がやってくる
	ボーナス一括払い	<ul style="list-style-type: none"> 手数料負担がない 利用月によっては支払いまでかなり猶予期間がある 	<ul style="list-style-type: none"> 多用すると、支払時の負担金額が大きくなる 加盟店によって使えないことがある 利用できない時期がある
複数回	2回払い	<ul style="list-style-type: none"> 手数料負担がない 一括払いに比べて、支払いに余裕が持てる 	<ul style="list-style-type: none"> 多用すると、どの支払いが完了して、どの支払いが完了していないのかが分かりにくくなっていく 少額決済の場合、使えないことが多い
	分割払い(3回以上)	<ul style="list-style-type: none"> まとまったお金がなくても商品購入できる (金融機関の個人ローンの申し込みなどに比べると)簡単に利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> 手数料が、金融機関の個人向けフリーローンよりも少し高めである 多用すると、手数料負担がかさむ
	リボルビング払い(定額方式) ※	<ul style="list-style-type: none"> まとまったお金がなくても商品購入できる (金融機関の個人ローンの申し込みなどに比べると)簡単に利用できる リボルビング払いを選択することで、ポイントが通常よりも多く付与されるものもある 	<ul style="list-style-type: none"> 完済する前に、リボルビング払いで追加のカード利用があると、いつまでたっても返済が終わらない 一般に、分割払いよりも手数料水準が高い

※一定額ではないタイプや、定率方式のリボルビング払いもある

ですね。従って、カード発行を申し込む際には、その人の「信用調査」「属性審査」などが行われます。簡単に言うと、きちんと支払い能力があるかどうかの見極めです。

また、無尽蔵にいくらでも利用できるわけではなく、1カ月当たりの「限度額」が設けられるのが一般的で、カード利用により信用の実績ができると、増額されたりもします。

クレジットカードの種類

では実際、どのようなクレジットカードの種類があるのでしょうか。いろいろな分け方がありますが、その発行元で考えてみましょう。銀行や銀行の系列会社が発行する「銀行系」、信販会社が発行する「信販系」、販売促進や顧客の囲い込みを目的としてデパートやスーパーなどが発行する「流通系」、流通系と同様に顧客の囲い込みや製品の販売促進を図る目的で発行される「メーカー系」、ガソリンスタンドでの値引きや固定客狙いの石油会社が発行する「石油系」などが挙げられます。これだけ種類があると、なかなか自分に合った1枚(1枚とは限りませんが)を選ぶのは難しいものです。どのようにしてクレジットカードを

選べばよいのでしょうか。

選び方のポイント

冒頭ご紹介した調査結果を思い出してください。利用頻度が上がり、1回当たりのカード利用額は下がっている傾向でした。これには、実はカード機能の一つ「ポイント制度」が一役買っています。

ポイント制度では、発行元が自社製品やサービスの購入時にカードを利用することで、一定のポイントを利用者に付与します。次回以降の購入時に付与されているポイント分の割引を行うといった還元性を持たせ、顧客をリピートユーザーに育て上げる囲い込み戦略の一つとして、各社力を入れている制度です。現在では企業や業種の枠を超え、複数の企業同士で「ポイント提携」もなされており、その広がりや勢いを見せています。今、普通預金金利はだいたい0.2%程度で推移していますが、ポイントが0.5〜1%相当付くカードもあります。しかも預金金利は付与されるのに1年かかり、2割の税金も取られますが、ポイント還元はそういったことはありません。実質はその差以上により高金利と言えます。カード会社の実施している調査でも、カード利用の

理由に「ポイントがあるから」との回答が上位を占める傾向がここ数年続いています。

こうしたポイント制度を活用してもらうため、企業側はカードを利用できる場を増やしていますし、利用者側は支払いを先延ばしにするメリットよりも、ポイント獲得のため、少額から積極的にカードを利用するようになってきたようです。

となると、やみくもにクレジットカードを選ぶより、より効果の期待できる選び方をしたいですね。そこで、カード選びのステップを考えてみました。

1 よく利用するお店のポイント制度をチェック

スーパー、デパート、ガソリンスタンド、ネットショップなど、クレジットカードが使える場所は増えました。日ごろよく利用するお店や利用額の高いお店にポイント制度はないか確認してみましょ。ここでは、どれか一つに絞る必要はありません。とにかく比較材料となる選択肢を挙げていきたいと思います。

2 ポイント還元の条件をチェック

「100円で1ポイント、1ポイント1円換算」であれば、実質1%引きの買い物ですが、「200円で

1ポイント、1ポイント11円換算」であれば、その半分です。ちよつとややこしいですが、いくらの買い物でいくら還元されるのか確認したいところです。また、ポイント還元する際には、「500ポイント以上」など制限があったりするので、この点も併せて確認しましょう。

3 ほかのお店でポイント獲得が可能かどうかチェック

そのお店のみならず、まったく別のお店の買い物でもポイントがたまったり、あるいはポイント交換できるものもあります。よく利用するお店がラインナップとして複数あれば、より効率よくポイントがためられます。

4 入会費・年会費をチェック

ここはとてゝ大事です。いくらポイントが高くて、せつかつたまっポイントが年会費と同額であれば、まったく意味はありません。年会費無料というカードも豊富にあるので、そうしたカードを中心に検討するといひでしょう。しかし、よく利用するお店であれば、会費を支払ってでも、それ以上のメリットが期待できるかも。冷静に試算してみてください。

5 独自サービス等のチェック

ポイントのみならず、そのお店独

クレジットカード再点検!

～カードを上手に活用するための基礎知識～

カード選びのポイント

- 1 よく利用するお店のポイント制度をチェック
- 2 ポイント還元の条件をチェック
- 3 ほかのお店でポイント獲得が可能かどうかチェック
- 4 入会費・年会費をチェック
- 5 独自サービス等のチェック
- 6 今持っているクレジットカードも総点検

自の割引サービスや提携企業での特典など、オリジナルのサービスもチェックしておきましょう。国内外の旅行保険などは、あると便利なものです。

資金管理の考え方

す。自分の消費行動から、よく使うカードを厳選しましょう。

6 今持っている

クレジットカードも総点検

1～5と同じステップを、今すでに持っているカードでも行いましょう。

よりよいカードはないか再確認するのはもちろんのこと、ポイント獲得を考慮した場合に、カードが分散してしまっていては効率が悪いもので

お気に入りのクレジットカードに出会えたら、後は快適に付き合っていきたいもの。しかし、意外と難しいのがその資金管理ではないでしょうか。

クレジットカードの仕組みの基礎は、先ほど触れましたように「立替払い」で、いわば借金をしていることと同じです。そのため、よくも悪く

も商品を購入する時点と、実際にその代金を支払う時点の間には時間差が生じます。商品購入時、目の前のお金が減っていないため、利用額を意識しないでいると、つい使いすぎということになりかねません。カード会社からの請求書を見て慌ててしまった、という経験はカード利用者であれば、1度はあるのではないのでしょうか。かく言う私もその1人。今後ますます少額決済が増え、クレジットカードの利用頻度が高まれば、クレジットカードの資金管理は家計管理の鍵を握るといっても言い過ぎではないでしょう。

そこで、クレジットカードの利用に関しては、徹底した「発生主義」による資金管理をおすすめします。発生主義とは会計用語なのですが、この場合、カードを利用したと同時に、目の前で意識できる資金の残高を減らすことで時間差をなくそうとする資金管理方法を言います。何だか分かりづらいですね。具体的に考えてみましょう。

例えば、毎月の家計費を現金で管理している場合、クレジットカードを利用したら、その利用額をすぐにカードの引落口座に入金してしまします。これで目の前の残高は減り、「使った」という実感が持てます。また、銀行口座について、通常の生活

資金の出し入れを行うための「生活費口座」とは別に、カード引き落とし専用の口座を作成することも有効です。生活費を現金管理している方にも便利だと思います。

ただし、カード利用の都度、その「専用口座」へ預け替えてATMなどで行うのは面倒なものです。そこで私が活用しているのはインターネットバンキングです。給与振り込み口座と同じ金融機関にカード引き落とし専用の口座を設け、インターネットバンキングを申し込みます（一部の金融機関では複数の口座は作成できません）。自分名義の口座間における資金移動は、通常手数料はかかりません。ご自分でパソコンから資金移動の操作をする必要がありますが、1円単位で簡単に操作可能です。メインの口座の残高はカード利用ごとに減っていくので、使いすぎも防げます。頻繁にカードを利用するのであれば、1週間に1度というように定期的に行う方法でもいいでしょう。

もちろん、資金管理手法はほかにもあるでしょう。大切なことは、カードを利用したと同時に目の前で意識できる資金残高もきちんと減らし、目に見えて「使った」と実感できることです。正解は一つではないので、ぜひ試行錯誤してみてください。

クレジットカード利用上の注意点

サインをする

新しいクレジットカードを手にしたら、まず最初にカード裏面の所定欄にサインしましょう。このサインは、加盟店で利用する際、本人であることを証明するもので、盗難・紛失の際のトラブル防止にも役立ちます。サインがないと、カードが不正使用された場合も損害額が補償されません。

カードを貸さない

クレジットカードは、厳密に言うとカード会社から本人名義で「借りている」ものです。そのため、他人はもちろん、家族に貸すことも契約違反となります。もし、借りて使った人がお金を払ってくれなくても、支払いはいカード保有者の負担となるので注意してください。

利用伝票はしっかり保管&きちんと処分

クレジットカードの利用伝票の控えは大切に保管し、後日カード会社から送付される明細書との照合を忘れないようにしましょう。また、利用伝票の控えを第三者に拾われ、カード番号や有効期限を不正に使用される事件が発生しています。公共の場のゴミ箱などに捨てたりせず、きちんと自分で処分しましょう。

暗証番号は他人に知らせない

クレジットカードには、不正使用（他人使用）を防ぐため、事前に登録しておく数字4桁の暗証番号があります。この暗証番号は絶対に他人に知らせるはいけません。また、暗証番号を記入したメモとクレジットカードを一緒にしておいたり、生年月日や電話番号など他人推測されやすい番号を暗証番号にするのは危険なので避けましょう。

紛失したらすぐ連絡を

カードを紛失したら、すぐにカード会社に連絡しましょう。ただちに利用停止手続きを取ることで、以後の不正使用を防ぐことができます。同時に、最寄りの警察に紛失届けを出すことを忘れずに。

こんなところにびびる用心

いずれにしても、発生主義。これだけはしっかり肝に銘じましょう。

もしカードを盗難されたり紛失

してしまったら、他人に悪用される

心配があります。カードがないと気

が付いたら、すぐにカード利用停止

してもらうようカード会社に連絡

しなければなりません。通常、24時間体制で受け付けてくれます。従ってよく利用するカード会社の連絡先は携帯電話に登録しておいたり、手帳に書いておいたりしておくとう安心です。

電話口では、本人確認のため名前や住所、電話番号、そして生年月日といった質問があります。気を付けたいのは住所。住所変更を怠って

いて、旧住所や登録電話番号を答えられないと手間取ります。名前と生年月日が分かれば原則対応してくれますが、変更届は日ごろからしっかり行っておくとうよりよいでしょう。

さらにカードの利用被害というところ、スキミングが挙げられます。スキミングとはカード情報が盗まれることです。盗まれるのはあくまで情報であって、カードではありません。その

ため、なかなか犯罪に気付かないのが難点です。身に覚えのない架空の請求が来て初めて分かることがほとんどなのです。ただし、犯罪被害と認められれば、支払いは全額補償されます。

クレジットカードには、これまでのような磁気タイプとICカードタイプがあり、後者の方がセキュリティは高くなっています。いずれか選べる場合は、ICカードを選択するのも自己防衛の一つでしょう。とはいえ、絶対安心ということはありませんので、毎月の請求書にはきちんと目を通し、間違いがないか確認すること習慣付けましょう。

便利なツールとして利用するために

便利なクレジットカードですが、その裏側では、使いすぎないようにきちんとした資金管理が求められますし、カード被害に巻き込まれないよう自己防衛も必要です。

安心で快適に、そして真に便利なツールとしてクレジットカードと付き合っていたきたいと思います。

他者への理解と

人類はどこから来て、どこへ行くのだろうか？ こうした疑問を、生物進化学などの視点から解き明かそうとしている、長谷川眞理子先生。
やさしい語り口で書かれていた長谷川先生の著書には、専門知識がない私たちでも「そうだったのか！」と納得できる、面白い事柄がたくさん紹介されています。本誌では、特にヒトという生物が持つ「生きる力」「学ぶ力」について、身近なテーマから書いていただきました。

チンパンジーに言語はない

前回までのところで、「視線の共有」について書いた。お互いに視線を交わしながら、外界について共通認識を持つというのには、私たちが普段当たり前のように行っていることがある。しかし、これはきわめて人間的な能力なのだ。そして、このことが、言語の獲得にも、文化の伝達にもつながっていく。

言語は人間的な特徴で、人間の言語に相当するものを持つている動物は、ほかにはいない。人間ともっとも近縁なチンパンジーもずいぶん賢いが、言語は持っていない。研究者が「生懸命教えても、言語を習得することはない。

彼らは喉の構造が違うので、人間のように母音や子音をつなげて自在に言葉を話すことはできない。しかし、単語に相当するものを図形のシンボルにして教えることはできる。例えば、青い色の三角形のプラスチックを「リンゴ」という単語とする、黄色いS字型のプラスチックを「ください」という単語とする、という具合だ。こうして教えると、

チンパンジーたちは、200以上の「単語」を覚え、「リンゴ」「ください」

というように、二つの単語をつ

なげて要求を出したりもする。

チンパンジーに言葉を教え

ようとする研究は、こうして

30年以上も続けられてきたが、

結論を言うと、チンパンジーは言

語を習得することはない。なぜな

ら彼らは、ついに文法というものを習

得することがないからだ。文法とは、単

語を並べる規則である。「男がシカを殺す」

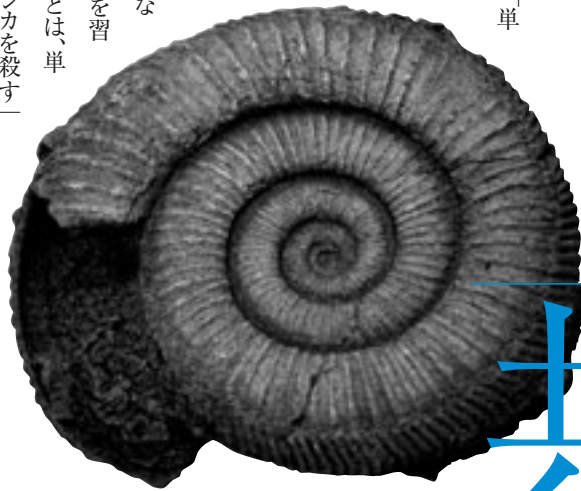
という文章と、「シカが男を殺す」という文章とは意味が

まったく異なる。それは、単語の並べ方の規則が文の意味を

決めているからだ。チンパンジーは、それぞれの単語の意味を

離れて、その上にこのような規則が存在することを理解し

ないのである。



連載エッセイ

ヒトの生きる力、学ぶ力を知る

第3回

●総合研究大学院大学教授(進化生物学、行動生態学)
長谷川眞理子

はせかわ まりに

1952年東京都生まれ。東京大学理学部生物学科卒業。同大学大学院理学系研究科博士課程修了。東京大学理学部人類学教室助手、専修大学教授、米エール大学人類学部客員准教授、早稲田大学政経学部教授などを経て2006年から現職。2008年日本進化学会会長に就任。専門は、進化生物学、行動生態学。著書に『クジャクの雄はなぜ美しい?』『進化とは何だろうか』『雄と雌の数をめぐる不思議』など。

人間の子どもは世界を描写する

それはさておき、ここで取り上げたいのは別のことだ。記号を操ることを教わったチンパンジーは、いったいどんなことを「話す」のだろうか？ そのほとんどは、「リングください」「くすぐって」などの要求なのである。そして、差し迫った要求がないときには、自発的に「話す」ことはほとんどない。

振り返って、人間の小さな子どもはどうだろう？ 子どもは驚くほどの速さで言葉を習得していくが、子どもが話す言葉のほとんどが要求だということはない。もちろん要求もあるが、「おつきい、わんわん」とか、「お花、ピンク」とか、自分の興味をひいた物についてたくさん描写する。そのとき、その物に手を伸ばし、親などの大人と目を合わせて視線を共有する。別に、わんわんがほしいと言っているわけではない。お花を取ってくれと要求しているわけでもない。世界を描写し、その描写を他者と共有しようとしているのだ。

子どもにもそのように言われた大人の方はどうするか？ 「そうね、わんわん大きいわね」とか、「お花、きれいわね」など、子どもの描写しているものについて述べ、同調し、確認する。大人からの確認があると子どもは喜ぶ。つまり、人間の子どもは、興味をひかれた外界の事象について、他者と認識を共有したのである。そして、共有することがうれしいのである。初めて見るものの場合には、手を伸ばして「あー、あー」というような声を出し、大人を見る。そうすると大人が、「これはミカンって言うのよ」などと教えてあげるの

で、新しい単語の獲得も促進される。

どうも、チンパンジーにはこの、認識を他者と共有したい

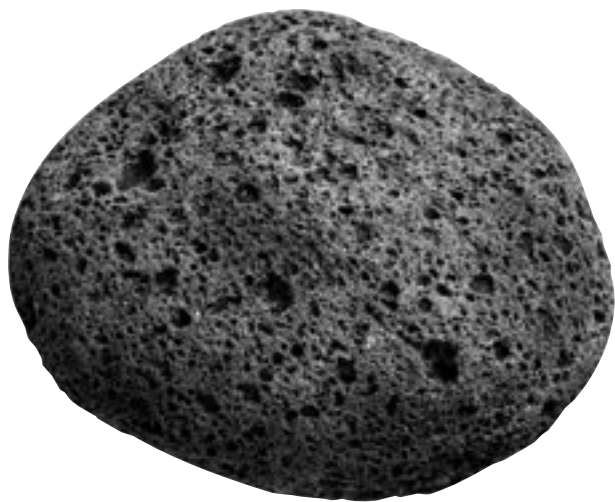
という欲求がない。「ねえ、ねえ、あれ見て」に相当する声も身振りもないのだ。チンパンジーも、みんな同じ物を見ることはある。しかし、「みんな見てるよね」という認識の共有がないし、「せーの」と動作を同期させて共同作業をすることもない。

「教えたい」という欲求

ところで、教えるというの、きわめて人間的な行為である。教えるには、教える人と習う人との間で、視線の共有があるし、外界に関する認識の共有がある。チンパンジーにはそれが無いのだから、チンパンジーがほかのチンパンジーに何かを教えるということは、ほとんどない。

私は、かつて、野生のチンパンジーの行動を研究していた。彼らは、細い木の枝をアリの穴に差し込んでアリを釣って食べる。しかし、チンパンジーの母親が子どもに道具の使い方を教えることは1度も見なかった。だから、チンパンジーの子どもが道具の使い方に習熟するまでには、大変長い時間がかかる。私だけではなく、これまでのすべての研究で、チンパンジーの母親による「教育」と呼べるようなものは、1回しか見られていない。

その1回は、西アフリカのチンパンジーの集団で見られた。その集団では、堅い木の実を石で割って食べる。子どもが何度石で割ろうとしてもうまくいかないでいたら、隣に座っていた母親が自分の持っていた石で、心持ちゆつくりと実を割り、その石を子どもの前に置いたという観察だ。でも、そんなことはこの1回しか起こっていないのである。



連載エッセイ

ヒトの生きる力、学ぶ力を知る

第3回

感

人間は、自分ができることを他人がうまくできないでいると、どうにも我慢できなくて教えてしまうものだ。「見ちゃおれん」という感覚である。まったく見ず知らずの人たちが、電車の中などで、「○○に行くのには、ここで降りた方がいいのだろうか？」などと不安げに話しているのを小耳に挟む。それが自分の知っていることであると、赤の他人でもつい教えてあげたくなる。人間は、本当に「教えたい」のだ。

他者の心を理解する

人間はどうして「見ちゃおれん」という心境になるのだろうか？ それは、第1に、相手が何をしようとしているのか、他者の意図や欲求が理解できるからだ。第2に、前回述べた「私」と「あなた」と「物」の三項関係の理解があるので、相手が何かをしようとしているという状況を、教える人と教わる人との間で共有することができるとからだ。第3に、因果関係の推論ができるので、何をすれば解決するのかを理解できるからだ。

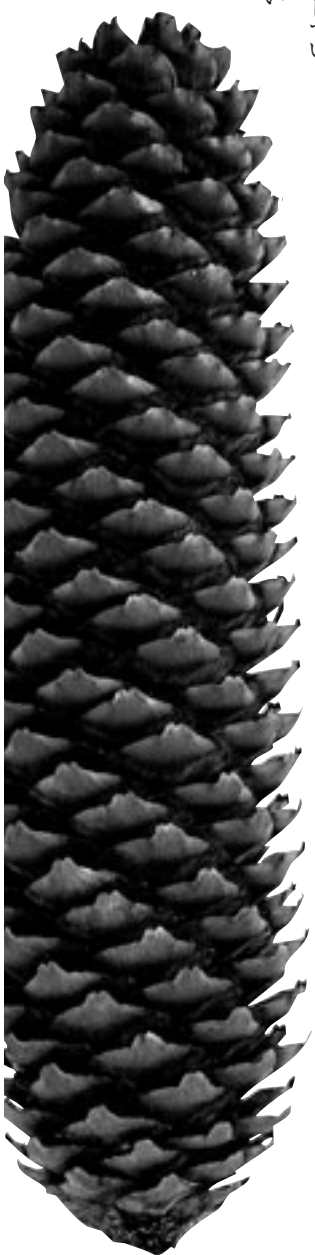
これまで第2の三項関係の理解について述べてきたが、第1の、他者の意図や欲求の理解も、とても大事である。人間は、他者には「心」があり、その心が意図や欲求を持っているから人は動くのだということを、自動的に理解している。しかし、チンパンジーがそれをどれほど理解しているのかということは、ここ30余年の研究の大問題なのである。チンパンジーだって、他者の意図が分からないことはないが、人間と同じレベルではない。

さらに人間は、他者が何をしようとしているのかという「目的・意図」や、他者が何をしたいのかという「欲求」を理解できるばかりではない。他者が、どう感じているのか、うれいいのか、悲しいのか、焦っているのか、怒っているのか、怖がっているのか、も分かる。そして、多かれ少なかれそれに共感する。この「共感」ということも、チンパンジーにどれだけあるのか、定かではない。

私たち人間は、他者を理解したり、共感したり、外界について他者と認識を共有したりすることが、あまりにも当たり前なので、ほかの動物だってそんなことはしているだろうと考えてしまう。そして、人間がほかの動物と違うのは、計算ができたり、いろいろな技術を考えだしたり、科学が分かったりする、高度な認知能力だと思っている。しかし、そうではないのだ。人間は認知能力も高いが、自分の心と他者の心、その感情、思いに対する、とても深く深い理解と共感があるのだ。そんな動物はほかにはいないのである。

高度な認知能力は、人間だって無理して使っているからこそ、その大切さを自覚するのである。他者の理解と共感は、当然のようにその能力を使っているがために、かえってその大切さが自覚できないのだろう。これは、人間の隠された宝なのだ。

他者への理解と共



気軽に始める 和文化入門

その
3

千代紙



言葉としては知っていても、詳しくは知らない日本の伝統文化が結構あるものです。ここでは、誰でも気軽に始められる和文化を紹介していきます。

今回のテーマは、千代紙。眺めて楽しく、使ってもまた楽しい。色鮮やかな千代紙の世界を紐解いてみましょう。

錦絵と同じ手法で作られる千代紙

千代紙とは、和紙にいろいろな模様を木版で色刷りした紙のこと。その発祥時期は定かではありませんが、京都の公家文化から生まれたことは確かかなようです。

公家たちは、上質な和紙に、肉筆で模様を描いたり、吹きぼかしを施したり、木版で模様を刷り込んだりした模様紙を、進物の上掛け紙や小物の包み紙などに使っていました。そうした風習が江戸時代、大奥や大名家に伝わり、江戸でも千代紙が売られるようになります。

当初、京都から江戸へ移入されていた千代紙ですが、明和2（1765）年ごろ、錦絵（木版多色刷り

の浮世絵版画）が創始され、その技術が発達すると、錦絵の版元が同じ手法を用いて千代紙も刷るようになり、一気に庶民の間に広まります。浮世絵師たちも競って千代紙の下絵を描いたことから、江戸名物として地方への土産物になるなど、「本家」を追いつく人気を博したのです。

なぜ「千代」なのか？

「千代紙」という言葉が確認できる最初の文献は、宝暦7（1757）年刊の『童学要門 実語教童子教』です。ところで、この「千代」とは何を示しているのでしょうか？

その由来については、もともとの千代紙の模様には

は鶴亀や松竹梅などめでたい柄が多く、長い年月を意味する「千代」というめでたい言葉が使われたという説や、千代田城（江戸城の通称の大奥で使われていたからとする説、この紙を好んで使った宮家の千代姫の名から取ったとする説など、諸説があります。しかし本当のところはどうなのかは、残念ながらまだ分かっていません。

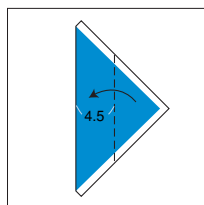
京千代紙と江戸千代紙

京都で始まり、江戸で発展した千代紙には、現在でも「京千代紙」と「江戸千代紙」の二つの流れがあります。双方の大きな違いは図柄です。

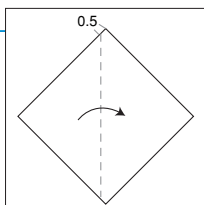
京千代紙は、もともとは染織物のモチーフである

千代紙を使って簡単小物作りに挑戦

箸袋



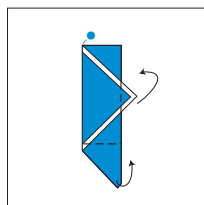
②4.5cmのところを折る。



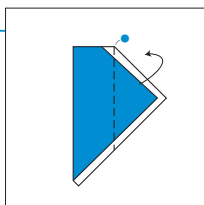
①15×15cmの千代紙を、中心から0.5cm左のところで折る。



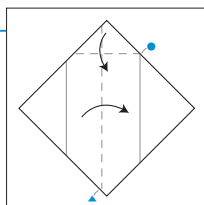
お料理に華を添えてくれる千代紙の箸袋。簡単なので急なお客様にも便利です。



⑤手順4で折り込んだ面を正面にし、点線の位置でそれぞれを後ろへ折れば完成。

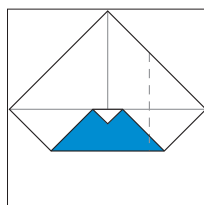


④丸印のところで後ろへ折る。

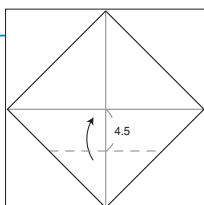


③開いて、丸印のところで下方方向に折ったら、次に手順1で折り筋を付けた三角印のところで折る。

ポチ袋



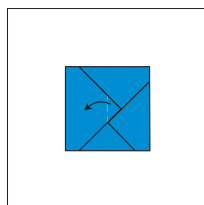
②中央の折り筋と重なったところを折る。



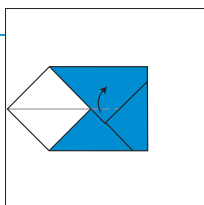
①15×15cmの千代紙を図のように折り筋を付けた後、4.5cmのところを中心にに向けて折る。



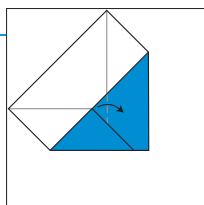
かわいらしいポチ袋は、ちょっとしたお祝いや心付けのときに重宝します。



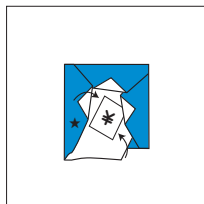
⑤最後の角も手順4と同様に折る。



④その隣の角も同じように中央に向けて折り、折り筋と重なったところを折る。



③隣の角も同じように中央に向けて折り、折り筋と重なったところを折る。

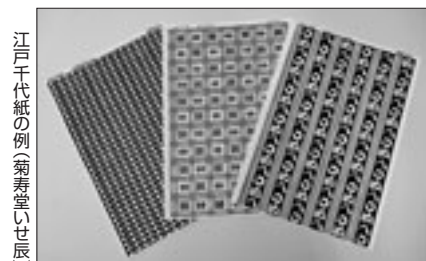


⑥一番最初に折った部分を少し持ちあげ、紙幣を入れたら、最後に折った星印の部分を先に入れてから閉じる。

【参考資料】
『千代紙集成』ふたば書房
『千代紙・型染紙』保育社
『NHK美の壺 千代紙』日本放送出版協会
『暮らしに役立つ折り紙ブック』（雄鶏社）



空千代紙の例（へん井屋）



江戸千代紙の例（菊寿堂いせ辰）

千代紙を使う楽しさ

和紙でできている千代紙は、美しいだけでなく、軽

草花を基調としたものが中心で、後に貴族の伝統的な模様（有職文様や、京都の風土・行事にちなんだ模様も増えていきました。
これに対し、江戸千代紙は、江戸の風土に根ざした模様がいく、歌舞伎などの芝居を元に作られた、歌舞伎十八番、隈取り、役者紋づくしなども多く見られます。

くて丈夫。そのため、江戸時代の着せ替え人形である「姉様人形」や小物入れ、書物の装丁など、さまざまなものに使われてきました。現在では、関東大震災や第二次世界大戦によって多くの木版が失われたことや近代的な印刷技術の登場によって、機械刷りの千代紙が主流となっていますが、木版手刷りのものも少量ながら健在です。

ちょっとした小物やラッピングなどに用いることで、日常に彩りを添えてくれる千代紙。用途によって木版手刷りと機械刷りとを使い分けながら、折ったり、切ったり、貼ったりして、思い思いに千代紙を楽しんでみてはいかがでしょうか。



作文・小論文 コンクール を 実施

このコーナーでは、毎回、金融広報中央委員会の最新の取り組みや活動内容を紹介してまいります。
今回は、中学生・高校生・教員等を対象とする作文・小論文コンクールについてご紹介します。



金融広報中央委員会では、中学生や高校生に金融・経済への関心を高めてもらい、また教員等の間で金融教育の在り方に関する議論を深めていくことを目的として、毎年、作文・小論文コンクールを実施しています。今年度の応募状況を見ると、中学生・高校生は昨年度を幾分下回りましたが、教員部門は昨年度を上回る応募がありました。教育関係・金融関係の専門家の方々による厳正な審査をいただき、入賞作品を決定しました。

「おかねの作文」 コンクール(中学生)

今年度で41回を迎える「おかねの作文」コンクールでは、「私の活きたおかねの使い方」「携帯電話やインターネットとの付き合い方」「悪質商法の被害にあわないためのわが家の対策」など6つのテーマに沿って、全国および海外在住の中学生から作品が寄せられ、応募総数は4146編となりました。

個人や家族の体験を元に、感じたことや考えたことをまとめた作品が多く見受けられました。特選等の入賞作品を見ると、お金で買えない価値への想いや、悪徳商法に遭遇しそうになった経験から家族で相談した対応策、携帯電話や

インターネットをいかに使いこなすか、勉強する環境に恵まれなかった祖母の人生を知り夢をかなえるために必要なお金への気づきを綴ったものなど、力作が集まりました。

「金融と経済の明日」 小論文コンクール(高校生)

「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクールでは、「働くことの意味・意義」「夢の実現に向けてあなたのライフプランを立ててみよう」「携帯電話やインターネットの上手な活用法」「超高齢社会で生きるといふこと」など5つのテ

第41回「おかねの作文」コンクールの特選・秀作の作品・入賞者（敬称略）

- ★特選 「価値のあるお金の使い方」〔金融担当大臣賞〕
愛知県・名古屋市立守山西中学校 **山田 つかさ**
「悪徳商法の被害にあわないための我が家の対策」〔文部科学大臣賞〕
群馬県・千代田町立千代田中学校 **植木 千恵**
「祖母の通知表」〔日本銀行総裁賞〕
愛知県・岡崎市立甲山中学校 **鈴木 崇造**
「携帯電話とインターネット」〔日本PTA全国協議会会長賞〕
兵庫県・灘中学校 **平井 宏和**
「見えない軌跡は」〔金融広報中央委員会会長賞〕
兵庫県・灘中学校 **馬場 悠輔**

- 秀作 「お金の重み」 滋賀県・近江兄弟社中学校 **一門 泰平**
「インターネットについて学ぶ」大分県・大分市立明野中学校 **森山 心月**
「携帯電話は必要か？」京都府・京都市立岡崎中学校 **木村 美咲**
「僕にも出来る人助け」京都府・京都市立嵯峨中学校 **児嶋 寛治**
「資産家の英断」熊本県・熊本市立出水中学校 **野田 京**

「金融と経済の明日」第6回高校生小論文コンクールの特選・秀作の作品・入賞者（敬称略）

- ★特選 「現代における情報媒体の利用について」〔金融担当大臣賞〕
静岡県・静岡市立商業高等学校 **大森 美桜**
「働く姿を見て」〔文部科学大臣賞〕
岡山県・岡山県立玉島高等学校 **赤野 早葉江**
「夢に向かって進む」〔日本銀行総裁賞〕
千葉県・暁星国際高等学校 **大松 賢準**
「高齢者の医療費」〔全国公民科・社会科教育研究会会長賞〕
青森県・青森県立八戸高等学校 **田名部 真梨子**
「自立と自由」〔金融広報中央委員会会長賞〕
千葉県・東京学館高等学校 **鈴木 悠介**

- 秀作 「格差社会と私たちの未来」京都府・同志社女子高等学校 **高橋 佳奈子**
「働くことで歯車になる」広島県・広島市立基町高等学校 **山手 瞳**
「格差を食い止めるために」京都府・同志社国際高等学校 **畑中 佑介**
「環境保全と経済学」兵庫県・雲雀丘学園高等学校 **畑中 晶**
「円相場で経済を知る」岡山県・岡山県立岡山南高等学校 **竹井 龍**

「金融教育を考える」第5回小論文コンクールの優秀賞・奨励賞の作品・入賞者（敬称略）

- ★優秀賞 米作りの会社「なめがたガキンチョ米会社」経営の試み
茨城県・神栖市立横瀬小学校 **山本 良信**、行方市立行方小学校 **宮崎 幹子**
高校における「求められる金融教育の体系的学習内容」とは何か
—商業高校における金融教育プログラムと授業実践を通して—
長野県・長野県立小諸商業高等学校 **小林 和夫**
高校で本当に必要な学びとは何か
—スキルとネットワークの形成をキーワードに授業を変える—
大阪府・大阪府立福泉高等学校 **井沼 淳一郎**

- 奨励賞 教員養成段階（大学）への金融教育普及活動の必要性和有効性
東京都・慶應義塾大学経済学部 **六郷 和紀**
「株式会社アツシヨップ」に夢を乗せて
～高校生による本格的株式会社創設宣言～
神奈川県・神奈川県立厚木商業高等学校 **岩村 夏樹**
金融教育の実践例 「マーケティング」での実践例
愛知県・愛知県立知立高等学校 **清水 隆則**
「働いて・使って・貯める」経済学習
～中学校社会公民的分野「家計」での取り組み～
滋賀県・甲賀市立甲南中学校 **井上 陽平**

マについて、全国の高校生・高等専門学校生から、2082編の応募がありました。
「ユースや資料・データを参照しながら、関心を持った社会問題を論じる作品が多数寄せられました。その中で、インターネットなどの新しい技術の功罪を考察した作品や、働くことについてその意義を考えた、親の働く姿から感じたことをまとめたもの、高齢者の医療費の在り方について考えた作品、起業についての具体的な夢とプランを紹介したものが入賞しました。

「金融教育を考える」
小論文コンクール（教員・研究者）
学校教員や教育関係の研究者を対象とする「金融教育を考える」第5回小論文コンクールには、金融教育に関する授業や学校行事での実践報告を中心に、31編の応募をいただきました。
米作りの会社を経営することで勤労と金銭との関連を体験させた小学校での実践や、高等学校での商業教育における金融教育の体系化を試みた論文と高校生が社会に巣立つに当たり必要とす

る学びの授業が入賞しました。奨励賞には、中学校における「家計」の学習、高等学校でのマーケティングにおける実践や実際の株式会社設立構想、教職を志す大学生からの提言が選ばれました。
各コンクールの入賞作品は、知るばるとのホームページ（www.shinpuorto.jp）でご覧になれます。
これらのコンクールは、平成21年度にも実施（6月ごろ募集開始）する予定です。多数のご応募をお待ちしています。

金 銭 ト ラ ブ ル か ら 身 を 守 ろ う

— 地域住民の方にも伝わった授業の成果 —

金融教育の現場レポート

「金融教育」は、社会の中で生きる力を育むことを目的として行われる教育です。このコーナーでは、金融教育の授業がどのように進められているか、教育現場に立つ先生や、授業を受ける生徒の姿をレポートします。今回は、熊本県立玉名高等学校の山形 隆先生に、前任校（熊本県立松島商業高等学校）で2年間（2005年度～2006年度）にわたり実践なさった金融教育についてお話を伺いました。

熊本県の金融教育研究校に指定される

2005年7月、熊本県金融広報委員会から金融教育研究校の指定を受けた熊本県立松島商業高等学校。同校にて、山形先生は2年間にわたり、高校3年生を対象とした金融教育を実践されましたが、そのきっかけは何だったのでしょうか？

「今でも状況は変わりませんが、当時も多重債務、ヤミ金、自己破産などの言葉が新聞やテレビで盛んに流されていました。そうしたこともあったのですが、生徒から金銭トラブルの実態や対処法などについて勉強したいとの要望がありました。じゃあやってみようとい



うことで、2005年度から始めることにしました。ちょうど、3年次に開設している商業科目のつに、課題研究という講座がありますので、そこで金銭トラブルに関する調査研究を行うことを目的とした講座「金銭トラブルから身を守るう」をスタートさせた次第です」

講座は4月から始まりましたが、その後、金融広報中央委員会、およ

び熊本県金融広報委員会の存在を知り、金融教育研究校の指定を申請。同年7月から、正式に金融教育研究校としての金融教育プログラムが始まりました。

大成功の課題研究「金銭トラブルから身を守るう」

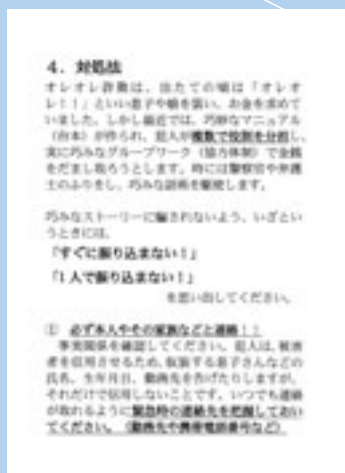
1年目の課題研究「金銭トラブルから身を守るう」に参加したのは、商業科1名と情報処理科8名の計9名の3年生。

まず1学期は、金銭トラブルとは何か、その基礎知識について学び、その後「振り込め詐欺」「フィッシング詐欺」「偽造通貨」などについて、各自が調

熊本県
た ま な
熊本県立玉名高等学校
や ま が た た か し
山形 隆教諭



第2班が作成した「偽造通貨」のパンフレット



査を進めました。なかには、高齢者をだます手口に憤りを感じる生徒もいたほか、この1学期の研究を通して、生徒各自の「金銭トラブル」に対する危機意識がかなり高まったと言います。そして、夏休み。日銀熊本支店と県消費者センターへの訪問です。

「金融教育研究校に指定されたことをきっかけにお願いしてみたところ、スムーズに実現しました。午前中は熊本支店で支店長のお話を聞いたり、偽造防止の最新技術などを見せてい

いただきました。午後は県の消費生活センターを訪問しました。多重債務問題や振り込め詐欺など、実際の事例を具体的に紹介していただいたので、生徒たちもかなり興味を持って聞いていました。お金の使い方についても、改めて考えさせられたようです」

2学期になると、テーマを絞り込み、より深い研究に取り組みことになりました。9名のメンバーを2班に分け、第1班は「オレオレ詐欺」、第2班は「偽造通貨」を調査研究することに

なりました。

第1班の「オレオレ詐欺」チームは被害状況や犯行の手口、そして対処法などを丹念に調査しましたが、その調査の過程で再現ビデオの必要性を痛感。シナリオ、役者、撮影、そして編集のすべてを自分たちで行い、3分程度のビデオを完成させています。

「情報処理科の生徒が多かったの

で、彼らのスキルからすると、それほど難しくはなかったようです」

一方、「偽造通貨」に取り組み第2班は、全国の被害状況や過去に起こった偽造事件、そして新札や新5000円硬貨に施された最新の偽造防止技術について調査を進めました。

こうした課題研究を進める中、山形先生はある先輩教諭から「生徒の課題研究を、地域の方々にも発表したらよいのでは」というアドバイスを

上・中：1年目に上天草市の松島町総合センターで行われた研究発表会。地元の方々が多数来場されました

下：2年目に松島商業高校で行われた「金融教育公開授業 in 上天草」



2006年2月25日。上天草市にある松島町総合センターの会議室に、年配の方を中心として80名もの地元住民が集まりました。もちろん、生徒たちの「金銭トラブルから身を守ろう」研究発表会が目的です。

この日のために、万全の準備をしてきた生徒たち。第1班は、自分たちが制作したビデオを上映し、その後スライドでデータなどを見せながら、オレオレ詐欺の手口や対処法を分かりやすく説明。会場の至る所で、大きく頷く来場者の姿が見られました。また、第2班の偽造通貨では、偽造防止技術の説明を聞きながら、ご自分の紙幣を出し見比べる方もいて、ともに関心の高さがうかがえました。

生徒の研究発表が終わると、山形先生による補足説明と、「詐欺にだまされる人の心理」と題したお話があり、最後は熊本県金融広報委員会

の金融広報アドバイザーによる「金銭トラブルから身を守ろう 悪質商法・多重債務脱出法」と題した講演が行われました。

生徒の要望から始まった課題研究ですが、実に見事な成果と広がりを見せました。

「そうですね。生徒自身が意欲的だったということが大きいですが、金融教育研究校に指定されたこと、それと先輩の先生方からのアドバイスにも助けられました。『金銭トラブル』の実態や、『借金のおそれや貯蓄の大切さ』を知るという成果は、課題研究に取り組んだ9名だけではなく、校内での課題研究発表会、そして地域での研究発表会を通して、全校生徒や地域住民にももたらされたと思います」

公開授業に挑んだ 2年目の金融教育

1年目に実施された金融教育の成果をもとに、2年目は商業科目の「経済活動と法」の中で、改めて金融教育を実施することになりました。「経済活動と法」は選択科目ですが、この科目を選択したのは商業科の10名の生徒。1年目とほぼ同じ規模の人数で、金融教育が進められたわけです。

まず1学期は教科書に沿い、「法律の種類」「権利・義務と財産権」そ

して「財産権と契約」などを学び、基本的な法律知識を習得。

2学期に入ると前半は、金融広報中央委員会が発行する冊子『きみはリッチ?』を使い、カードの種類と役割、クレジットカードの仕組み、利息、保証人などについて学習。また、テキスト以外にも、金融トラブル予防のための情報を提供しているNPO法人のサイトを活用し、そこに登録されている「振り込め詐欺」や「催眠商法」などのビデオ視聴も授業に取り入れています。

2年目のハイライトは何と言っても、2学期の後半、2006年11月10日に松島商業高校にて行われた「金融教育公開授業 in 上天草」です。前年度の実績をもとに、年度初めから計



2年目に教材として使った金融広報中央委員会発行の『きみはリッチ?—多量債務に陥らないために—』



画していた公開授業です。当日は、一般参観者、父母、学校関係者、金融機関の関係者など約50名が、図書館前のホールで行われた公開授業に駆けつけました。

このときの公開授業のテーマは、「ネットオークション詐欺」。テーマを決めるに当たり、事前に生徒にネットオークションの経験を質問したところ、出品した経験はないものの、半数の生徒が入札の経験があると回答。ネットオークションの普及度の

の高さに、山形先生は認識を改めたと言います。授業のポイントとは3点で、第1は、ネットオークションの利便性と危険性。第2は、トラブルに巻き込まれないための方法。そして第3が、万一トラブルに巻き込まれた際の対処法です。

授業は、実際のネットオークション詐欺事例をもとに、「何が問題でどうすれ

ば解決できるか」を生徒たちに自主的に考えさせる形で進められました。そして、公開授業後の参観者のアンケートには、「具体的に分かりやすかった」「生徒二人が授業に参加していた」「商業科のことが少し分かった」「小額訴訟制度や内容証明郵便の説明がもう少ししほしかった」などのコメントが寄せられました。

今後も、人生設計に役立つ 金融教育を実践したい

2年間にわたり金融教育を実施した山形先生。経験を踏まえながら、最後に次のように語ってくれました。

「今の高校生は、金銭トラブルに関する法律とか、それを回避する方法についてあまり知識がないと思います。高校生と言えども卒業して2年もすれば成人です。前任校における卒業前のアンケートで、研究メンバーの1人が『研究したことを今後の生活に生かしていきたい』と書いていましたが、やはり厳しい社会で生きていくわけですから、金融教育は不可欠だと思います。また、この実践では金銭トラブルの回避や対処方法にポイントを置きましたが、機会があれば今

後はお金の面から見た人生設計、あるいは手元にある資金の適切な運用といった金融教育をやれたらと考えています」
現在、玉名高校で教鞭を執られている山形先生。前任校で実施した金融教育は行っていないませんが、玉名高校が市民向けに開催している講座で、金融教育をやつてみたいと考えているそうです。

2年間の活動概要

■1年目 「金銭トラブルから身を守ろう」(3年生課題研究)

- | | |
|---|---|
| 1学期：各個人による調査研究
夏休み：日本銀行熊本支店見学
熊本県消費生活センター訪問 | 3学期：研究成果発表
(1)校内課題研究成果発表会
(2)「金銭トラブルから身を守ろう」研究発表会(2006年2月25日 松島町総合センター) |
| 2学期：班による調査研究
(第1班)オレオレ詐欺
(第2班)通貨偽造 | |

■2年目 「経済活動と法」(3年生商業科選択科目)

- | | |
|--|--|
| 1学期：法律知識の習得 | |
| 2学期：「さみはリッチ?」(金融広報委員会発行)の活用
NPO法人が提供する金融トラブル予防情報サイトの視聴
金融教育公開授業の実施(2006年11月10日 熊本県立松島商業高等学校) | |

金 銭 ト ラ ブ ル か ら 身 を し る う

— 地域住民の方にも伝わった授業の成果 —

熊本県

熊本県立玉名高等学校 山形 隆教諭

すべての努力は現場のため

レスキュー隊員(特別救助隊)

栗田 篤さん

「生きがい」や「働きたい」。
そんな言葉がふざかしい人に出会うと、
なぜか小さな勇気を
もらったような気持ちになります。
このコーナーでは、私たちの身近なところで、
そうした思いで働いている方々を
紹介していきます。

第7回

将来へのまなざし

火災や交通事故、地震をはじめとする自然災害など、さまざまな災害現場において救助活動を行うレスキュー隊(正式名・特別救助隊)。今回は、東京消防庁上野消防署でレスキュー隊員として働く栗田篤さんにお話を伺いました。

●迷いなく消防士の道へ

「兄が自衛官ということもあってか、以前から、いざと言うときに現場で必要とされる人間になりたいと思っていました。だから仕事のことを考えたときにも、すぐに消防士が頭に浮かび、迷うことはなかったです」。大学卒業後の進路として消防士を選んだ理由を、こう話す栗田さん。消防士になつて8年目。現在は上野消防署のレスキュー隊で副隊長を務めています。当初は特にレスキュー隊を目指すつもりはなかったと言います。その考えが変わったのは、新人消防士が全寮制で消防業務の基礎知識や技能を身

に付ける消防学校のこと。

「教官がレスキュー隊をやっていた方で、カッコよくて憧れました。常に現場の最前線に出て行くのがレスキュー隊。自分も最前線で仕事がしたいと思うようになりました」

しかし、レスキュー隊になるための選抜試験を受けることができるのは、消防士として1年以上経験を積んだ後。そのため、栗田さんは、配属先にレスキュー隊がある消防署を希望。8カ月間のカリキュラムを終え消防学校を卒業した後は、希望通り、武蔵野消防署へ配属となりました。

「消防署の中にはいろいろな部隊がありますが、誰でも最初は必ずポンプ隊として活動します。ポンプ隊は、火災現場で消火活動を行うほか、救急車と連携して救急活動を行ったり、また、レスキュー隊の支援という形で救助活動も行う部隊です。火災現場への出場よりも救急車と一緒に出場し、救急活

動に当たることが多く1日2〜3件ありました。初めて火災現場へ出場したのは、配属から10日ぐらいたったところ。朝方に起きたアパート火災だったので、建物の中にまだ人がいるという情報があり、先輩に続いて中へ入ったところ、煙が充満していて真っ暗闇。何も見えない状況で、頭の中が真っ白になり、体も思うように動きませんでした。やはり怖いという気持ちもありましたし、これは大変な仕事だと痛感しました」

●つらい経験も次への糧に

課せられた任務の厳しさに直面した後も、持ち前の根性を発揮し、日々の訓練と現場での経験を積み重ねていった栗田さんは、翌年、目標としていたレスキュー隊の選抜試験に挑戦。競争率6倍の難関をくぐり抜けて合格し、1カ月半の研修を経て、レスキュー隊の予備隊員になりました。

実は、レスキュー隊の正隊員になれるのは、1小隊6名(地域により5名)の定員に空きが生じたときだけ。それまでの間、予備隊員はレスキュー隊員とともに訓練したり、現場でさらに経験を積みながらさまざまな勉強をしていくのです。

「予備隊員になつて初めて受けたロープの訓練は、今までで一番つらかった訓練です。直径12mmのロープをそれぞれ左右の手に持ち、腕の力だけで15m上らないといけないのですが、途中で腕がパンパンになり上れない。先輩は『上れ!』と言うけれど、どうしてもならない。結局『降りていい!』と言われるまでぶら下がりっぱなしです。もちろん、今は上れますよ(笑)」

一般の消防士より出場範囲が広いレスキュー隊は、火災や交通事故、列車事故をはじめ、さまざまな現場で任務にあたります。なかには、風呂場の排水溝に突っ込んだ手が抜けなくなった人を削岩機を使って救助したこともあるのだとか。

「どんな現場でも、救助できた瞬間が一番うれしいです。必要とされたとき、それにしっかり応えられることにやりがいを感じています」

しかし、人の死と直面するこ

とも少なくないのがこの仕事。「火事で逃げ遅れた子どもが見つからず、消火後も一帯の灰を掘り起こして小さな遺体を見つけたことがあります、今も忘れられません。でも、無理にでも気持ちを前向きに切り替え、その経験を生かし、次の現場では必ず助けようという気持ちでいます」。

● 訓練・勉強に終わりはなし

レスキュー隊の正隊員となつて今年で4年目。2008年4月から上野消防署のレスキュー隊で副隊長を務めている栗田さんが今心掛けているのは、隊員間のチームワーク作り。「隊をまとめるのは隊長ですが、隊員をまとめるのは副隊長の役目。隊の指揮

を取り、隊外にもいろいろ役割がある隊長に対し、副隊長は隊員同士をまとめる重要なポジションなので、隊員たちと積極的にコミュニケーションを取るようになっています」。そんな栗田さんの目下の目標は、隊長になること。ご自分の隊の隊長のように、そこにいるだけで安心感が持てる隊長になりたいのだとか。ちなみに、レスキュー隊に在隊可能なのは隊員35歳、隊長45歳まで。このことから、どれほど高い身体能力を必要とする仕事かが分かります。そこで、栗田さんの考える、レスキュー隊員に必要な資質について伺ってみました。その答えは、気力と体力、そして根性。

「あと、うちの隊員を見ると、何にでも興味を持って勉強していますね。例えば列車事故の現場へ行けば、列車の構造や電気の流れを知っていないといけない。私も休みの日を利用して民間の資格講習会などに行っています。何が起るかわからない現場で、的確に判断を下し、対応するためには、いろいろな知識が必要ですから」

さまざまな災害現場で活躍するレスキュー隊。その活躍の陰には、日ごろの地道な訓練と努力がありました。



知るぽると ホームページ 使い こなし術

No.3

まずはホームページにアクセス

「知るぽると」のトップページから、「金融と経済のしくみ」→「金融商品・金融用語」→「金融商品なんでも百科」の順番でクリックすると、左のような「金融商品なんでも百科」の画面が表示されます（左のURLからの直接アクセスすることも可能）。この画



●「知るぽると」トップ画面

<http://www.shiruporuto.jp/> にまずアクセス

●「金融商品なんでも百科」のURLは

<http://www.shiruporuto.jp/finance/kinyu/hyakka/>

やってみよう!!

金融商品なんでも百科

日々の暮らしで、金融情報や知識が必要になったとき、皆さんはどうしますか？ そんなときに便利なのが、金融広報中央委員会のホームページ「知るぽると」です。今回はその中から、金融商品の種類や特色を分かりやすく解説している「金融商品なんでも百科」をご紹介します。

面から、読みたい章のタイトルをクリックしてください。各章の項目一覧画面が表示されます。

なお、第1部と第3部の情報については、Webブラウザでそのまま閲覧できるものと、PDFの2種類を用意しています。PDFでご覧になりたい方は、この画面で各章タイトル下の（PDF ● ● KB）の部分をクリックしてください。

金融商品の基本的情報を 中立・公正な立場で解説

「金融商品なんでも百科」は、銀行、証券会社、保険会社などの金融機関が取り扱う主な金融商品の特性について、中立・公正な立場から解説したものです。ライフプランに合った金融商品を探す方法や金融商品の保護の仕組み、金融機関選びのポイントなども分かりやすくまとめているので、「金融商品が多すぎて違いがよく分からない」とか「自分に合った金融商品をどう探せばいいか分からない」という人に

便利です。また、金融取引に関する相談窓口なども紹介しています。

●「金融商品なんでも百科」の目次

はじめに

第1部：金融商品の選び方・組合せ方

- ・金融商品の選び方・組合せ方
- ・金融商品を巡る環境の変化と自己責任時代
- ・ライフプランにあった金融商品を探す方法
- ・金融商品の保護について
- ・金融機関選びのポイント

第2部：金融商品大百科

- ・50音別目次
- ・預貯金
- ・ゆうちょ銀行の貯金
- ・信託
- ・公社債
- ・株式
- ・投資信託（投資信託および投資法人）
- ・保険・共済
- ・財形貯蓄
- ・その他の金融商品など
- ・金融商品と税金

- ・ローン（住宅ローン以外）
- ・住宅ローン
- ・各種金融機関の紹介（金融商品購入の窓口）

第3部：金融なんでも情報

- ・金融なんでも情報



「金融商品なんでも百科」の中を見よう!



Webブラウザでの閲覧タイプでは、ページ下のメニューをクリックすることで、前後のページを表示できます。

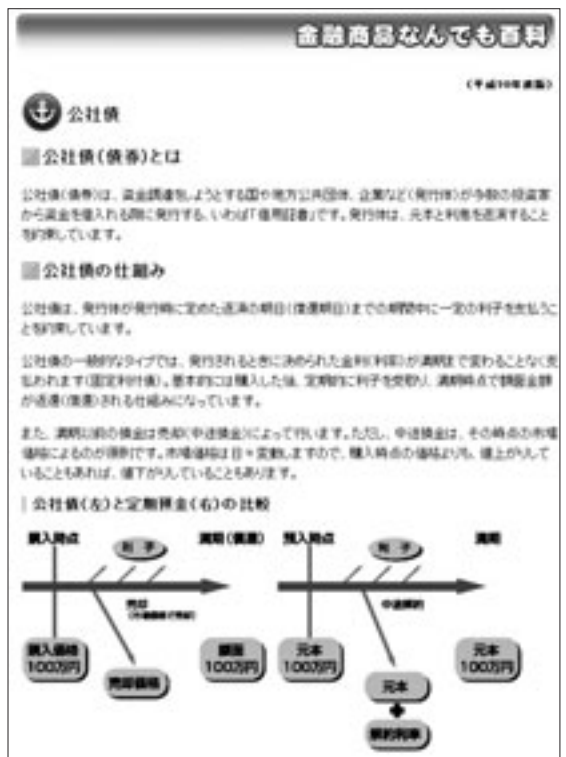


「第2部:金融商品大百科」の「50音別目次」画面。さまざまな金融商品について解説があることが分かります。

ポイント!

個別の金融商品については、別途よく情報を確認して!

「金融商品なんでも百科」は、主な金融商品の特徴等について基本的な情報を解説しているものです。一方、個別の金融商品は、取り扱う金



「公社債」についての解説ページ。仕組みを図解するなど、初心者にも分かりやすくまとめてあります。

融機関によって詳細が異なっていたり、新たなサービスが組み合わされて商品が多様化していることもありますので、個別の金融商品の取り引きを検討する際には、十分に商品内容を個別金融機関に問い合わせ確認してください。

わたしは ダメサレナイ!!

第3話 融資保証金詐欺

●監修 丹野 美絵子(たんの・みえこ)

(社)全国消費生活相談員協会常任理事／消費生活専門相談員

このコーナーで紹介するまんがは、実際に起きた詐欺事件をもとに、その「だましのシーン」を再現したものです。なぜだまされてしまうのか?ここで再現する巧みな話術に、その秘密が隠されています。「私だけは大丈夫!」なんて甘く考えてはいませんか?実はそう考える人こそ被害に遭いやすいのです。



融資保証金詐欺とは?

振り込め詐欺の一種です。融資をするように見せかけて、保証金や登録料などの名目で、借り手に現金を振り込ませてだまし盗り、実際にはまったく融資も実行しません。借り手の借りたい心理に付け込んだ詐欺です。融資保証金詐欺にひっかかると、お金をだまし盗られ、ますます借金を増やすことになります。ヤミ金業者が何らかの名簿を元に、はがき・ダイレクトメール(DM)・電子メール・ファックスを送ってきたり、雑誌広告や折り込みチラシなどを利用し、融資をすると誘うものが多いようです。

その手口とは?

ポイント1 甘い言葉で注目させる

融資保証金詐欺の業者は、借り手が飛びつくような条件を提示します。例えば「ブラック(多重債務)の方専門」「特別低金利キャンペーン」800万までOK!「即日融資実行」「無担保、債務1本化できます」「90日間無利息」などです。

ポイント2 借り手の弱みにつけ込む

融資保証金詐欺は、お金をどうしても借りたいという借り手の心理につけ込んでいます。すでに多数の金融業者から借金をしている多重債務者や、借金をすることが困難な自己破産者に被害者が増えています。また、たとえ多重債務者でなくとも、融資保証金詐欺にひっかかってしまい、それをきっかけに借金を重ねざるを得ない状況に陥ることもあります。



10分後



ポイント3
さまざまな口実で振り込みをさせる

借り手の追い詰められた状況や、家族や勤務先などの個人情報をもとに、さまざまな口実や名目を付け、借り手から現金を振り込ませます。

〈融資保証金詐欺の口実や名目〉

・保証協会の会費
・ブラックリストからのデータ取消料
・登録手数料

・カード作成手数料

・万一の際の保険料、保証料

・個人情報セキュリティロックの費用など

また、ほとんどの場合、借り手が支払うお金

については、「融資を実行する際に返済する」

「利息と相殺する」「後から必ず戻る」などと

と説明されるため、借り手はその言葉にだ

まされてしまいます。

ポイント4

大手金融機関を装うケースもある

融資保証金詐欺の業者の中には、大手金融機関のロゴなどを勝手に使用したDMを作成するなどして、信用させようとするものもあります。

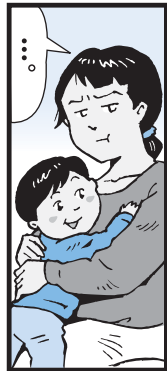
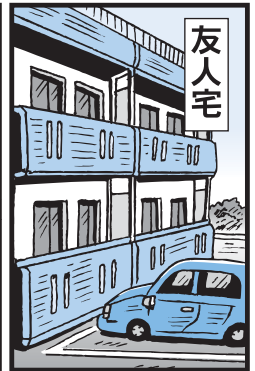
ポイント5

途中から連絡が取れなくなる

最初から詐欺を目的としているため、借り手が現金を振り込んだ後には、業者とは一切連絡が取れなくなります。

予防策は？

①融資の前に、さまざまな口実で現金を振り込ませようとするところからは、絶対に借りないこと。



全国各地の消費生活センター

各自治体相談窓口

日本弁護士連合会 03-3580-9841
<http://www.nichibenren.or.jp/>

日本司法書士会連合会 03-3359-4171
<http://www.shiho-shoshi.or.jp/>

日本司法支援センター（法テラス）
0570-078374
<http://www.houterasu.or.jp/>

**借金返済のための借金は
しないで、専門家に相談を！**

②登録貸金業者かどうか確認すること。（金融庁の登録貸金業者情報検索サービスで確認することができます）
<http://www.fsa.go.jp/ordinary/kensaku/>
③はがき、DM、電子メールなどによる融資話には、一切関わらないこと。

返済に困っても、そのために新たな借金をするのはやめましょう。困ったときは専門家に相談することです。金利規制の強化、過剰貸付規制の強化などを盛り込んだ「貸金業法」が成立しています。ケースによっては過去に払いきつた利息が戻ることもあります。

都道府県金融広報委員会の活動紹介

関係者との連携を大切に

岩手県金融広報委員会

当委員会(事務局・日本銀行盛岡事務所内)は今年度、教育現場における金融・金銭教育の二層の普及に力を入れています。

まず、金融・金銭教育関係授業の実践に役立つよう、具体的なプログラム例と当委員会からの講師派遣について紹介したパンフレットを作成し、県教委を通じて県内全域の小・

中学校、高等学校等、約740先へ配付しました。これは金融広報アドバイザーが発案・作成したもので、興味深い授業を目指し「家の財布を考える(家計の支出項目と費用を考える)」や、「値段が変わるカレー

屋さん(経済教育)」などのテーマを提案しています。このパンフレットをきっかけに、中学生や小学校PTA向けに講演する機会を得ました。

さらに、若年層における消費者トラブルの未然防止を図るため、高校生対象の金融経済セミナーを行っています。今年度は20校から開催希望が寄せられ、参加生徒数は延べ約

2000名の予定です。金融広報アドバイザーのほか弁護士の方々にもご支援いただき、「悪質商法の手口と対処法」「卒業後、自立した生活を送るための知識」等をテーマに講演をしています。

これらの取り組みは、いづれも、県教委はじめ関係先のご協力により実現できました。また、「1人でも多くの人に金融広報活動を知ってほしい」と事務局を積極的にサポートしてくださるアドバイザーの皆さんの熱意なしには、当委員会の活動は成り立ちません。これからも関係者の皆さんとの連携を大切にしな

分かりやすくタイムリーな情報を

兵庫県金融広報委員会

当委員会は、日本銀行神戸支店に事務局を置き、中立・公正な立場から暮らしに身近な金融経済情報の提供と金融学習支援を中心に活動を展開しています。

今年度は、例年神戸市・姫路市と共催で開催している一般消費者向け「くらしに役立つ金融経済講演

会」をそのほかの地域にも広げ、幅広い地域で分かりやすくタイムリーな金融経済情報を提供する予定です。

また、当委員会では、7名の金融広報アドバイザーにご協力いただき、一般県民や金融学習グループなどの学習支援を行っております。金融広報アドバイザーが講師を務めた講座を受講された方からは、「金融商品を選ぶポイントを消費者の立場に立つてお話しいただき大変勉強になった」「分かりやすい事例を挙げた説明でとても参考になった」などの感想をいただいております。

このほか、学校関係では、小・中・高等学校の3校に金融・金銭教育研究校を委嘱、また、平成18年度より継続して、研究校OBの先生方にメンバーとなつていただく形で金融教育研究グループを委嘱し、研究校への助言や金融教育に関する情報提供を行つていただいています。

これからも県民の皆さまのお役に立つ金融広報委員会を目指して、頑張つていきたいと考えております。



から活動を続けていきます。

金融広報アドバイザーの紹介

自分の生き方を 確かなものにするために

前田芳子
(三重県)

生活設計の大切さを 分かりやすい言葉で伝えたい

生活協同組合コープみえで、さまざまな組合活動をされてきた前田芳子さん。金融広報アドバイザーになる前は、コープみえの中でライフプランアドバイザーをしていました。

「生協の活動というのは商品の共同購入だけでなく、健康、福祉、環境などの活動があります。ライフプランアドバイザーの会もそうした取り組みの一つで、このような生協の活動を通して、ファイナンシャル・プランナーと消費生活アドバイザーの資格を取得しました」

こうした背景があり2006年4月から金融広報アドバイザーに。得意とする分野は、生活設計、金融商品の基礎知識など。また、前田さんは消費生活センター相談員も務めており、市民レベルでの生の声を多く聞く立場にあるため、そうした経験がセミナーなどでも生かされています。

「そうですね。資料で得る知識も

もちろん大事ですが、具体的な事例に接していると、セミナーなどでお話しする際にも説得力が出てきますね。それに、多重債務などの相談を受けていると、生活設計の大事さを痛感することが多く、こちらとしても真剣に分かりやすい言葉で伝えたくになります。セミナーなどに参加された方々が、家庭や会社に戻られてから、そこで得た情報を周りの方にも話していただければと思っています」

ライフイベント表記入で 実感できるそれぞれの将来像

年に10数回、金融広報アドバイザーとして講演する前田さん。高校生から主婦、高齢者までと幅広い層を対象としています。講演内容によつてツールを効果的に使っています。「せっかく参加していただいているので、なるべく具体的に理解できるようにしています。例えば、ライフプラン講座では、参加者の皆さんにライフイベント表へ、家族全員の年齢

を15年分だけ記入してもらいます。詳しいイベント表ではありませんが、実際に紙に記入してみると、ご自分の将来の姿が具体的にイメージできるため、より現実的な問題として考えることができます。車を買って替えるころに長男が高校生に入学すると、下の子どもが大学に入学するとき、父親は53歳になっているとか。簡単なことで、真面目に生活設計について考えてみようかな、というきっかけにはなります」

もちろん、こうした工夫は確かな反響となつて現れます。例えば、「今年、50代を対象としたライフプラン講座をさせていただきましたが、参加されたある方が終了後にこんなことをおっしゃいました。『最初はあまり期待していなかったが、聞いていると自分は老後の準備をしなければならぬ年齢だと実感

してきた。これからどう暮らしていくべきかよく考え、社会保障制度や金融商品についても、勉強していきたい』と。こうした言葉をいただく、やはり、やりがいというものを感じますね」

最後に、前田さんからのワンポイントアドバイス。「収入と支出をきちんと把握し、自分の収入に合った生活をしましょう」



金融広報アドバイザーとは、金融広報委員会からの委嘱を受け、各地において暮らしに身近な金融経済等に関する勉強会の講師を務めたり、生活設計や金融・金銭教育の指導等を行う金融広報活動の第一線指導者です。現在、全国に約480名います。

身に付けたい 確かな金融知識と考え方

河田一人
(鳥取県)

まずはリスクを知ることから

日本ファイナンシャル・プランナーズ協会鳥取支部の副部長を務めている河田一人さん。金融商品分析・株式・経済などの分野を専門に、2003年4月より金融広報アドバイザーを務めています。講演会で一貫しアピールするのは「リスクを知る」ということ。

「まずは、お金に絡んだリスクを十分に知ってもらうようお話ししています。ただし、一方的にリスクだけを知ってもらうだけでは、過度に臆病にならないことも、実はとても大事なことです。このことを分かっているだけで、その上で投資の魅力と考える方についてもお話しします。やはり、これは基本的なことですから、常日ごろからどう伝えようか考えていますし、悩ましいところでもあります。講演会で使う説明用の資料も、架空のデータでお話ししても説得力がありませんから、個人のデータを例として説明しています。ただ、プリントしてお渡しするわけにはい

きませんので、あくまでも会場内の説明用データとして使っています」

また、ファイナンシャル・プランナーという仕事柄、気になるのが金融商品がらみの詐欺事件。

「残念です。こうした類いの詐欺にひっかからないためにも、金融知識はぜひ身に付けてほしいです。知識があれば防げますから」

講師と参加者が 一体感を持てる講演会に

河田さんは、年数回の講演会に講師として赴いていますが、講演会に集まる人数は、少人数の場合もあり、平均すると約150人。

一般の人でも参加できる大学での公開講座のような大きな講演会になると、300人もの人が集まるそうです。しかし、こうした会場での講演は、参加者の層に幅があるため話題のレベル設定や、話し方などに難しさがあると言います。

「最初のころは、こちらが慣れないせいもあり、盛り上がりに欠け

ましたね。会場内で寝たりゲームをしている学生もいて、いろいろ考えさせられました。どのようにすれば、話を聞いてもらえるのか手探りの状態でした。でも、最近はこの会場も盛り上がりつつあります。壇上に立つと分かりますが、皆さんが熱心に聴いてくださっているのが、こちらにヒシヒシと伝わってきます。ただ、会場の雰囲気にはせられて、つい余談を入れたりすると、

本当に時間がなくなってしまうこと

もあります」

また、こうした大学での公開講座に関しては、大学側が参加者からアンケートを取るため、その反響を確認することもできます。

「アンケートを見ながら、反省すべき点は反省し、次回の講演会に生かすようにしています。でも、自分が伝えたかったことについて、コメントがあった際はうれしいですね。本

当にやってよかったと思います」

そうした河田さんのこれからの目標は、小学生から高校生を対象とした金融教育。「ぜひ、やりたいですね。キャッシュフローゲームなども面白いですし、何とか定期的に継続してやれるようなことを考えています」と熱く語ってくれました。



右側が河田アドバイザー

「金融教育フェスティバル」を開催

金融広報中央委員会では、去る11月22日(土)、23日(日)の2日間、東京・秋葉原UDXビルを会場に、「金融教育フェスティバル in the Galaxy(ギャラクシー)」を開催しました。

今年で4回目を迎える金融教育フェスティバルは、豊かな社会で育つ子どもたちが、金融・金銭感覚を正しく養い、金融リテラシーを身に付け成長することを、また、保護者の方々と学校関係、さらには一般の市民の皆さまには、金融教育や金融知識について大に関心を持ってもらうきっかけの場となることを願い、平成17年度から開催してきました。

今回は、IT・エレクトロニクスの最新技術の街「秋葉原」を「宇宙空間」に見立て、ギャラクシーの名の通り、子どもにとって「未知」に感じる「おかねの宇宙」に楽しくチャレンジしながら、お金や金融の基本を学んでいくことを目指しました。天候にも恵まれ、会場は千人近くの親子が参加し、一日中楽しく賑やかな声に包まれました。

●ウルトラマン、アンパンマンと、楽しくお金のことを勉強！



ヒーローと一緒にお金を学ぶ

取り組んだり、なかには、金広委事務局スタッフが扮した「おかね博士」に質問したりして、正解を目指しました。

会場には、お金についての知識を深め、「おかね博士認定証」を手にした笑顔の子どもたちの姿がたくさん見られました。

●銀行の仕事やお買物を体験
お金つて、大切！

「おかねミッション」会場では、子どもたちは、まず、「宇宙中央銀行」の臨時職員となり、貨幣マスに模擬コインを入れて鑑査。「きれいなお金を正確に流通させることは苦労するね」と体感していました。次に「にちぎんキッズ」を見ながら宇宙で「一般的な「ギャラクシー銀行」の仕事」を学んだ後、お仕事体験で得た宇宙貨幣を使って「買物体験」。

どのようなカレールを作るかを自分で決め、限られた宇宙貨幣で必要なものを購入するはずが、品物の前で悩んだり、いつの間にかリストにないものを買ったり。お金を上手



あれこれと悩みながら、お買い物

に使うことの楽しさと難しさを、あんなびるえつこ先生と一緒に学びました。

当日楽しんで学んだのは子どもたちだけではありません。「知るぽろ」と金融教育セミナーでは、金融教育や金融知識に関心を持つ大勢の方が金融広報委員会の委員団体等の講師の話に熱心に聞き入りました。

最後に、金融教育フェスティバルの開催をご支援いただきました関係団体の皆さま、ご来場いただきました多数の皆さまに、心から厚くお礼申し上げます。



読者の皆さまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●秋山さんのお金に対する考え方に、とても共感しました。お話もとても分かりやすく、この歳にして算数で面白そうって、初めて思いました(遅い?)。娘2人にも、思いつき遊びで、夢中になれる何かを見つけてほしいと思いました。毎号、読みたいです。(大分県・マシユマロママさん)

●「金融教育の現場レポート」を読み、子どもたちが参加しながら金融について学んでいることを知り、とても印象的でした。それと、裏表紙のマンガをもっと見たいです。子どもと一緒に読める、分かりやすく楽しさにこだわった雑誌が希望です。(石川県・まりまりなさん)

●「教育資金を考える」は、子どもが2人とも大学進学希望なので、とても参考になりました。本人と一緒にお金について考えていこうと思います。

(宮城県・うさぎさん)

●ためになる記事ばかりです。特に、長谷川さんの連載エッセイに書いてあった「物まね」は、大変興味深かったです。

(栃木県・杉並木さん)

●「わたしはダマサレナイ!!」の振り込め詐欺のまんがをととても面白く読みました。だまされないと自信を持っていた、相手の巧みな話術に乗せられる様子がよく分かりました。うまい話はあるわけがないと思うようにします。

(福島県・ゆきちゃん)

●「書棚の上に想いも載せて(将来へのまなざし)」が面白かったです。よく本屋さんへ行きますが、書店員の苦労や工夫がよく分かりました。(大分県・高柳さん)

●還付金詐欺ですが、家内と話をしていた、なぜひっかかるのか分からないと言っていました。それで、このマンガを見せたところ、ナルホドと感心していました。

(徳島県・コンちゃん)

●「金融教育の現場レポート」は中学校での実践紹介でしたが、高校でもやってみたいと思います。現実的には、時数が足りないのが難しいですが。

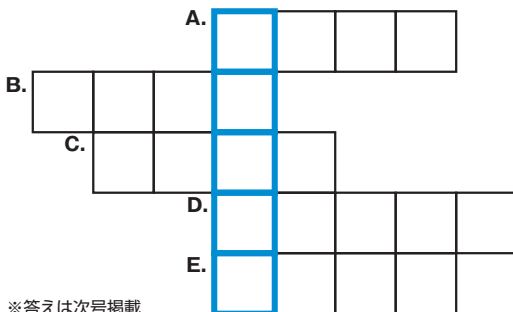
(熊本県・奈葉さん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントでヨコに言葉を入れていくと、タテの太枠にキーワードが完成します。本誌に登場したある言葉ですが、さて何でしょうか?

キーワードはな～に?

- A. 卓球のこと
- B. 引退、退職のことを英語では?
- C. 大蒜の読み方
- D. カード情報を盗み不正利用する犯罪のこと
- E. 阿波踊りと言えば〇〇〇〇県



※答えは次号掲載

●前号の答え

きょういく

人生の三大資金の一つである「教育」資金は、ライフプランを立て、早めに準備することが大切です。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。平成21年2月27日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、いただいたおたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「図書カード」をプレゼントいたします。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう一工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

メール : info@saveinfo.or.jp

FAX : 03-3510-1373

金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

都道府県金融広報委員会一覧

委員会名	郵便番号	住所	電話番号
北海道金融広報委員会	〒060-0001	札幌市中央区北1条西6-1-1	011(241)5314
青森県金融広報委員会	〒030-8570	青森市長島1-1-1	017(734)9209
岩手県金融広報委員会	〒020-0021	盛岡市中央通1-2-3	019(624)3622
宮城県金融広報委員会	〒980-8570	仙台市青葉区本町3-8-1	022(211)2523
秋田県金融広報委員会	〒010-0921	秋田市大町2-3-35	018(824)7814
山形県金融広報委員会	〒990-8570	山形市松波2-8-1	023(630)3101
福島県金融広報委員会	〒960-8614	福島市本町6-24	024(521)6355
茨城県金融広報委員会	〒310-8639	水戸市南町2-5-5	029(224)2734
栃木県金融広報委員会	〒320-8501	宇都宮市塙田1-1-20	028(623)2151
群馬県金融広報委員会	〒371-8570	前橋市大手町1-1-1	027(226)2273
埼玉県金融広報委員会	〒333-0844	川口市上青木3-12-18 SKIPシティA1街区2F	048(261)0995
千葉県金融広報委員会	〒260-8667	千葉市中央区市場町1-1	043(225)7141
東京都金融広報委員会	〒103-8660	中央区日本橋本石町2-1-1	03(3277)3788
神奈川県金融広報委員会	〒231-8588	横浜市中区日本大通1	045(210)3874
山梨県金融広報委員会	〒400-0032	甲府市中央1-11-31	055(227)2419
長野県金融広報委員会	〒380-0936	長野市岡田178-8	026(227)1296
新潟県金融広報委員会	〒951-8622	新潟市中央区寄居町344	025(223)8414
富山県金融広報委員会	〒930-0046	富山市堤町通り1-2-26	076(424)4471
石川県金融広報委員会	〒920-8678	金沢市香林坊2-3-28	076(223)9519
福井県金融広報委員会	〒910-8532	福井市順化1-1-1	0776(22)4495
岐阜県金融広報委員会	〒500-8570	岐阜市数田南2-1-1	058(213)9257
静岡県金融広報委員会	〒420-8720	静岡市葵区金座町26-1	054(273)4112
愛知県金融広報委員会	〒460-8501	名古屋市中区三の丸3-1-2	052(954)6166
三重県金融広報委員会	〒514-0004	津市栄町1-954 三重県栄町庁舎3階	059(246)9002
滋賀県金融広報委員会	〒520-8577	大津市京町4-1-1	077(528)3412
京都府金融広報委員会	〒604-0924	京都市中京区河原町通二条下ル 一之船入町535	075(212)5151
大阪府金融広報委員会	〒530-8660	大阪市北区中之島2-1-45	06(6206)7748
兵庫県金融広報委員会	〒650-0034	神戸市中央区寄町81	078(334)1129
奈良県金融広報委員会	〒630-8501	奈良市登大路町30	0742(27)8704
和歌山県金融広報委員会	〒640-8585	和歌山市小松原通1-1	073(441)2342
鳥取県金融広報委員会	〒680-8570	鳥取市東町1-271	0857(26)7160
島根県金融広報委員会	〒690-8553	松江市母衣町55-3	0852(32)1509
岡山県金融広報委員会	〒700-8707	岡山市丸の内1-6-1	086(227)5128
広島県金融広報委員会	〒730-0011	広島市中区基町8-17	082(227)4268
山口県金融広報委員会	〒753-8501	山口市海町1-1	083(933)2608
徳島県金融広報委員会	〒770-8570	徳島市万代町1-1	088(621)2258
香川県金融広報委員会	〒760-0023	高松市寿町2-1-6	087(825)1104
愛媛県金融広報委員会	〒790-0003	松山市三番町4-10-2	089(933)6308
高知県金融広報委員会	〒780-0870	高知市本町3-3-43	088(822)0114
福岡県金融広報委員会	〒810-0001	福岡市中央区天神4-2-1	092(725)5518
佐賀県金融広報委員会	〒840-0815	佐賀市天神三丁目2-11 アバンセ3階	0952(25)7059
長崎県金融広報委員会	〒850-8645	長崎市炉粕町32	095(820)6112
熊本県金融広報委員会	〒860-0844	熊本市水道町14-15	096(352)1662
大分県金融広報委員会	〒870-0023	大分市長浜町2-13-20	097(533)9116
宮崎県金融広報委員会	〒880-0805	宮崎市橋通東4-3-5	0985(23)6241
鹿児島県金融広報委員会	〒890-8577	鹿児島市鴨池新町10-1	099(286)2544
沖縄県金融広報委員会	〒900-8570	那覇市泉崎1-2-2	098(866)2187

くらし塾 Vol.7
さんゆう塾
 平成21年1月発行
 ●編集・発行
 金融広報中央委員会
 ●編集協力
 広告社株式会社
 ©金融広報中央委員会 禁無断転載

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
 新しい年を迎え、今年1年の目標を立てた方もいらっしゃると思います。
 本年も皆さんに身近な広報誌として、お役に立てるよう、より一層内容の充実を図っていきたく考えております。皆さんからのご意見・ご感想をお待ちしております。

* 本誌は全国の金融広報委員会等でお配りしています。個人の方の定期購読はお取り扱いしておりませんのでご了承ください。
 * なお、既刊号全号をPDFファイル形式で「知るぽると」ホームページ上に掲載していますのでご利用ください。

<http://www.shiruporuto.jp/about/kurashijuku/>



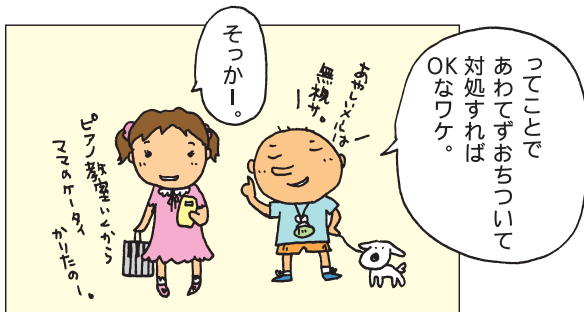
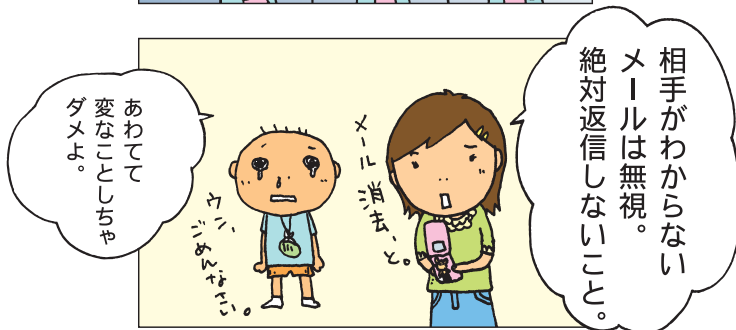
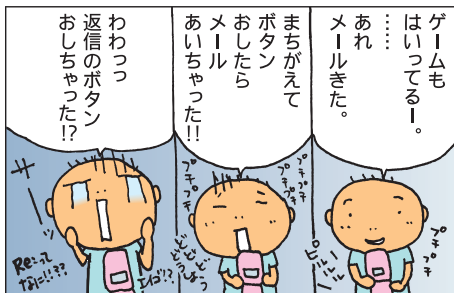
「もはや戦後ではない」（昭和31年度経済白書）と言われた昭和31年に作られたポスター。一般預金の残高は、前年の昭和30年11月末には、戦前水準のほぼ8割となる5兆円を突破するまでに回復。経済も確実に上向きとなった時代です。しかし、「今年も貯蓄で国の地固めを」と、引き続き緩むことなく貯蓄に励み、貯蓄額の実質的な戦前水準復帰をアピールしたのがこのポスターです。目標を富士山にたとえたビジュアルが印象的です。

知るぽるとホームページの楽しい親子向けコンテンツです！

おかねのね

ピンチ!!

知るぽるとホームページ
おかねのね
おかねとくらし道場
(小学5・6年生)より。
携帯電話などを通じて
金融トラブルに巻き込まれる
小学生は増えています。
どのように
対応したらよいのかを
伝えておきましょう。



小学生を対象とした教材で、ご家庭で保護者と一緒に楽しくお金の知識を学べます。
68テーマについて、4コマまんがと子ども向けページ、大人向け解説ページがあります。
親子で一緒に、クイズに挑戦したり、ワークをやってみませんか？

<http://www.shiruporuto.jp/teach/katei/okanenone/>

知るぽると <http://www.shiruporuto.jp/>

●「知るぽると」は金融広報中央委員会の愛称です。金融の情報が集まる「港」であり、分かりやすい金融の知識への身近な「入り口」です。

PRINTED WITH
SOY INK
大豆由来インクを使用しています